

真萱区報 第25-2号(25年7月)

[真萱自治会は、活動を通じ住民同士の良好な人間関係を築くことを目指します]

発行責任者：真萱自治会長 平山郁夫

1. 伝達事項

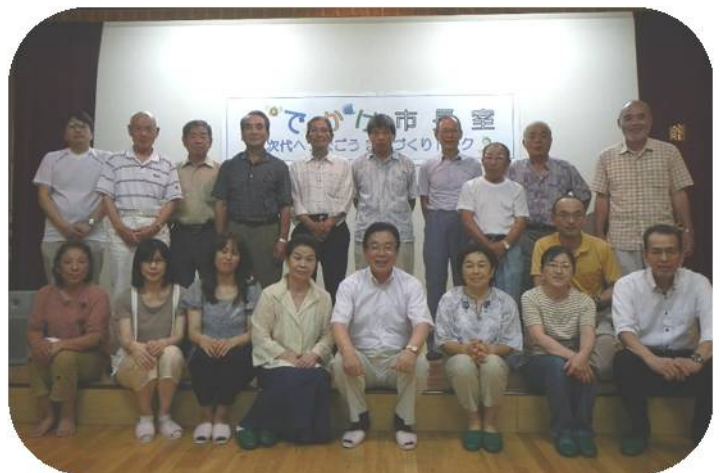
- ①片峰下水道整備は、今年度片峰3班地区を12月頃着手予定です(今年度で全工事を終了)。
- ②向原道路拡幅は、水道管取り替え後の10月頃着手予定です(今年度で全工事を終了)。
- ③真萱及び井頭の離合所新設は、今年度測量を実施します。
- ④ご近所の底力再生事業助成金(45,000円)でグランドゴルフのクラブ10本を購入しました。
- ⑤真萱自治会を「草刈ボランティア団体」として登録しましたので、草刈代の助成があります。
(年間32,960円(草刈延長2,060m*8円/m*2回)が支給される予定です)
- ⑥真萱が鶴崎地区クリーンモデル地区に指定されましたので、助成があります。
(助成金4万円は、花壇管理費等に使う予定です)
- ⑦松岡校区の社協が「高齢者の日常生活支援サポート体制」を創設しました。
(詳細は別途お知らせしますが、福祉推進員として吉田事務局長、安部公民館主事を登録しました)
- ⑧民生委員は今年度改選期でしたが、引き続き片山百代氏(芝尾)にお願いしました。
- ⑨区総会で加藤伸一氏から提案のあった事項(5項目)は、以下の方針で検討しています。
 - ・[公民館へのソーラーパネル設置]: 設置費用を検討し費用対効果を見て対応を決めます。
 - ・[天満社由緒書作成]: 作成の方向で具体的に進めます。
 - ・[天満社道路の火とぼし復活計画]: 住民の協力が得られるか等を検討し引き続き検討します。
 - ・[天満社の森復活計画]: 墓地への影響を考慮し保留とします。
 - ・[里道復活計画]: 現在検討中のクシヤ里道の動向を見て決めます。

2. お出かけ市長室が開催されました(7月25日)

真萱が24年度まちづくり大賞を受賞したことに伴い、市長との意見交換会が実施されました。大分市から釘宮市長他16名、真萱からは自治会役員と老人ク、真友会、子供会やサロンの代表者18名が出席しました。

(1)市長挨拶要旨

- ・真萱の協働のまちづくりを拝見し、素晴らしい取組であると思う。まちづくりは市民が主役であり行政がバックアップしていきたい。
- ・従来は要望事項が多かったが、最近はこの様な取組をしているので応援してほしいとの声が大きくなっている。
- ・人口、子供が減少傾向にあり社会を支える世代が少なくなっている。このことからまちづくりを考えなければならない。協働のまちづくりは、その準備をしていることである。



(2)意見交換内容(詳細は後日、大分市ホームページの「お出かけ市長室」で公開される予定)

(意見①) 野球やサッカーの出来る運動場が欲しい。

(市長) 松岡には小学校グラウンドやスポーツ公園があり、他地域に劣っていないと考えている。

高度成長期に造った物の建て替えの時期に来ている、今後はスポーツ公園の充実を考えたい。
 (意見②) 子供が安心して遊べる児童公園が他地区に比べ少なく、公園が欲しいとの声大きい。
 (市長) 市内には650カ所の公園があり、維持管理が大きな問題となっている。松岡での公園新設計画はないが、松岡の人口の増え具合を見て今後考えたい。次の世代を担う子供たちを育てていくことは大事である。支援できることはしっかり考えたい。
 (意見③) 災害時市民開放井戸の管理(井戸さらえ)技術を学びたい、技術を持っている人材を紹介してほしい。飲料水として使えるよう対策を講じてほしい。
 (市長) 井戸さらえ技術の保有者紹介は検討する。
 生活用水としての水質検査は実施している。飲料水として使用するための対策は大変であり、責任問題があるためできない。非常時は給水車やペットボトルで対応する。
 (意見④) 校区防災組織の必要性を検討してほしい。
 (市長) 自主防災会の横の連携は今後の課題として対応したい。
 (意見⑤) 自治会で対応できることは取り組んできた、一括交付金制度の現状はどうなっているか。
 (市長) 道路拡幅等は用地提供してもらったところを優先的に実施している。
 一括交付金制度は財政難時代への対応であり、5校区の「まちづくり協議会」に適用し、2年間の試行検証を行い、都市内分権を進めたい。
 (意見⑥) 都市内分権を進めるため、現在の自治委員制度を廃し、新しい制度を検討してほしい。
 (市長) 自治委員も役をはたしている。制度の在り方を検討するステップとして、一括交付金制度を採用した。地域で議論を進める中で良く検討していきたい。
 (意見⑦) 行政改革として職員1人当たりの市民数を150人としているがどうなっているか。
 (市長) 24年度末で145人となり、中核市の中では上位から17番目である。市長就任時の市借金は2100億円あったが、現在では1900億円になっている。皆で知恵を出し合いたい。
 (意見⑧) 「老人クラブ」と「サロン」があるが老人クラブ不要論が出ており、難しい局面である。
 (市長) 老人クは会費制であり、サロンは無料である。現状の問題、課題意識を持っている。
 (意見⑨) 市報等で健康維持のためのPRをしてはどうか。
 (市長) 健康管理は自己責任が原則、健康推進員や健康講演等に行政の人材を活用してほしい。
 (意見⑩) 真萱の子供会は19世帯、24人がいるが旧道通学時に不安を感じている。
 (市長) 登校時の安全対策は学校と協力していきたい、学校を通じて話を出してほしい。
 (意見⑪) 市役所対応でわかりやすい説明をしてほしい。
 (市長) ワンストップ体制の窓口もつくり対応が良くなったとの声も聞く、さらに向上したい。

(3)市長総評

- ・真萱は一体感があり、市長として希望することを全て実施している感がある。
- ・本日は市への提言や行政テーマをいただきうれしく思っている。

3. 防災会からのお知らせ

25年度は班会議(公民館清掃後)で心肺蘇生法、AED使用法、消火器取扱い訓練を実施します。

4. 今後の予定(8月~10月)

8月	真萱ふれあい広場(3日)、一斉ゴミ拾い草刈(4日)、慰霊祭・供養踊り(16日)
9月	敬老会(8日)、運動会・炊き出し訓練(22日)
10月	草刈り(未定)、御手洗神社秋の大祭(19~20日)

*物故者(5月~7月) 該当者はいません

以上